



第46回日本重症心身障害福祉協会

東日本施設協議会に参加

令和元年 11月7日(木)・8日(金)の2日間東京都大塚にあるホテルベルクラシック東京で東日本施設協議会が開催されました。今回は関東ブロック(東京)が幹事となり、事務局施設は全国重症心身障害児(者)を守る会東京都立東大和療育センターが担当し、細かい調整を行いました。歓迎の挨拶は全国重症心身障害児(者)を守る会理事長の倉田清子氏、東日本施設協議会会長挨拶は医療福祉センター札幌あゆみの園施設長篠原義文氏、来賓祝辞は東京都知事に変わり、東京都福祉保健局技監 矢内真理子氏、日本重症心身障害福祉協会理事長 児玉和夫氏より頂き開催となりました。今回のテーマは「意思決定」。各活動の中での意思決定を交えながらの実践発表がありました。

今回の参加施設 65 施設、参加者 212 名でした。閉会式では担当施設代表挨拶を緑成会整育園園長 山田直人氏、次期開催施設挨拶は神奈川小田原にある太陽の門福祉医療センター施設長 大川俊哉氏より挨拶を頂き、最後に東京都立東大和療育センター院長 柳瀬修氏よりお礼の挨拶があり終了となりました。

11月7日・8日の開催プログラム (一部省略・敬称略)

開会式	
特別講演1	重度障害者の意思の汲み取りは正しく出来ているか？ 講師 東京大学先端科学技術研究センター教授 中邑賢龍 座長 東京都立東大和療育センター院長 柳瀬治

特別講演2	いつでも どこでも だれにでも いくつになっても生涯学習を！ 講師 社会福祉法人天童会 秋津療育園理事長 飯野順子 座長 島田療育センター院長 木実谷哲史
実践報告	テーマ：すべての重症児者の いのちとせきめく明日を目指して～年齢と状態に応じた日常活動の充実に向けて～ 日中活動「ほっとステーションの取り組み」の実践 島田療育センター療育部療育長 高橋節夫 重症度の高い利用者への日中活動～新たな取り組み～ 東京小児療育病院看護・生活支援部生活支援担当科長 渡辺明彦 「時には街のレストランでコース料理を！」の取り組みを通して 東京都立東大和療育センター看護部生活支援科長 森謙二
理事長報告	今後の協議会運営について 理事長 児玉和夫
各施設からの提案等協議	議長：医療福祉センター札幌あゆみの園施設長 篠原義文
情報交換会	テーマ「重症心身障害児者における意思決定支援」 座長 心身障害児総合医療療育センターむらさき愛育園 名誉園長 北住映二 千葉リハビリテーションセンター愛育園 園長 石井光子 シンポジウム 本人にとって最適な医療・ケアの選択～関係スタッフの合意形成をはかる倫理カンファレンスと家族への意思決定支援～ むらさき愛育園東1階病棟看護係長 清家幸子 その価値観は誰のものですか？自分の物差しで考えていませんか？～チームで取り組む意思決定支援と代弁者の役割～ 東京都立府中療育センター看護科緩和ケア認定看護師 荒谷智子 本人の意思決定を最大限支援するICT機器の可能性～第三者後見人活動を振り返って～ NPO法人あすみの会事務局長 星良子 可能性を信じる～思いを叶えた経験を通して～ 東京都重症心身障害児(者)を守る会会長 安部井聖子
閉会式	
施設見学	

第30回

重症心身障害療育学会学術集会

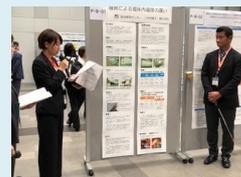
10月3日(木)・4日(金)、新潟県長岡市にて第30回重症心身障害療育学会学術集会が開催されました。日常の療育に於いて課題となっていることに取り組み、利用者の生活に寄り添う内容が多かったです。当センターからは、第5病棟 福田看護師が「ペアレントトレーニング的養育を用いた取り組みに関する考察」について個人の関わりから見出したチームにおける取組の強化と、共通認識の必要性について発表しました。(療育長 石川 勉)



第45回

日本重症心身障害学会学術集会

第45回日本重症心身障害学会学術集会が「重症児(者)をインクルーシブな世界の光に」をテーマに、9月20日(金)・21日(土)に岡山県・岡山コンベンションセンターにて開催されました。口演・ポスター発表は合計298題、当センターからは口演・ポスター合わせて4題を発表しました。今回は2日間で約1,200名の方が参加されました。2021年度は、東京都・島田療育センターが担当し開催する予定です。(療育部副部長 杉田 友春)



10月・11月の病棟行事

10月・11月に行われた各病棟行事、イベントの情報を
お知らせいたします。 (編集委員 高橋 節夫)

大遠足第2班 1病棟

11月7日(木)に実施、参加総数は48名。
今回の大遠足はパルテノン多摩シティーサロンをお借りして、マ
マアンサンプル「ドロップス」さんのメンバー6名によるコン
サートを楽しみました。参加者全員で一緒に歌ったり、踊ったり
と、普段とは違う外出活動を堪能しました。



大遠足第2班 2病棟

10月24日(木)に実施、参加総数は52名。
多摩中央公園の散策と、パルテノン多摩シティーホールにて「多
摩フィルハーモニカ楽団」のハーモニカ4重奏を鑑賞しました。
秋の曲や病棟でも聞きなれている名前呼びなども演奏して頂き
ました。とても綺麗な音色に、全員が聴き入っていました。



大遠足 3病棟(東棟)

10月2日(水)に実施、参加総数は54名。
午前中は厚生棟にて手作り楽器工房を実施し、マラカス・ギロな
ど思い思いの楽器を作りました。午後は、パーティー会場となる
パルテノン多摩で「レインボーズ」様とハロウィンを楽しみまし
た。手作り楽器を使ってみんなで盛り上がりました。



大遠足第1班 5病棟

10月29日(火)に実施、参加総数は45名。
病棟としては初めて2つの班に分かれて実施しました。
バスドライブの後、パルテノン多摩シティーホールにて「アート
ピア」様の声楽家3名とピアノによる演奏を参加者全員で楽し
みました。



大遠足第2班 5病棟

11月19日(火)に実施、参加総数は48名。
第1班と同様のプログラムで実施しました。午前が多摩市内をバ
スドライブ、午後はパルテノン多摩にてコンサートを楽しみまし
た。当日は快晴で、お昼ご飯は多摩中央公園で食べました。



大遠足第2班 6病棟

10月10日(木)に実施、参加総数は46名。今回は「こどもの
国」へ出かけました。晴天に恵まれ、清々しい気候の中で広々と
した公園内を散策しました。周囲から聞こえる園児たちの歓声
が、利用者様にも和やかな雰囲気を感じさせていました。バスド
ライブと公園散策という楽しい遠足が実施できました。



大遠足 7病棟(西棟)

10月9日(水)に実施、参加総数は38名。医療的ケアの多い西
棟利用者様にとっては、貴重な外出活動となりました。パルテノ
ン多摩に到着後、多摩中央公園を散策。その後、シティーホール
でピアノとトロンボーンの合奏を聴きました。ゆったりとした時
間を利用者様全員で共有できました。



自衛消防操法大会

10月30日(水)、自衛消防操法大会に参加しました。出場種目は、屋内消火栓操法1号消火栓 男子隊(西本・小林・津野)、女子隊(森・諏訪・高橋)、2チームでの参加は久しぶりでした。大会当日は、気温が23℃と10月とは思えぬ暑さでした。そんな中、仕事の合間に積み重ねた1ヶ月半の練習成果は発揮できましたが、結果は満足のいくものではありませんでした。

た。しかし、やり遂げたという達成感を感じる事ができました。今回、練習や大会を通じて普段使うことがない屋内消火栓の使い方や初期対応の重要性を再認識することが出来ました。この大会を通じて学んだ知識や経験は、日々の防災意識の向上に繋がる良い機会となったと思います。(NST 室室長 小林 弘治)



中組・山王下自治会 総合防災訓練

10月26日(土)、当センター厚生棟にて自治会(中組・山王下)総合防災訓練が行なわれました。災害時には、自治会様との「災害活動相互応援協定」に基づき、連携協働し、消火作業や救護活動を行うことで被害の拡大を最小限に防ぐことを目的としています。自治会からは18名の参加があり、避難経路の案内、特殊車椅子の操作体験を行いました。また、多摩消防署予防課4名の方をお招きし、生活に役立つロープワークをご指導いただきました。ロープを実際に手にし、教わった

結び方を何度も練習するなど熱心に取り組んでいました。ロープワークもそうですが、繰り返し練習(訓練)することが実践で役に立つのだと改めて実感しました。最後は自治会の皆様とスタッフ全員で記念撮影をして閉会となりました。

(会計科科長 會澤 秀安)



多摩市医療系防災訓練

10月20日(日)、多摩市の医療系防災訓練がありました。ちょうど1週間前に超大型台風19号が到来。日本各地で甚大な被害があり、災害の恐怖を実感していました。台風19号の時は、多摩市でもEMIS(広域災害救急医療情報システム)を活用したそうで、ますます地域連携の重要性を再認識しました。

今回の訓練は多摩市役所、日本医科大多摩永山病院、桜ヶ丘記念病院の3会場で同時に行われました。

このような形の訓練は東京都でも先進的だそうです。開会式では、各会場の挨拶が中継されました。様々な職種が実践に近い形で行われた訓練は学ぶことが多く、良い経験となりました。

(庶務科 田中 和恵)

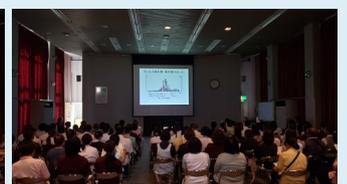


院内感染対策委員会 感染対策全体研修

10月7日(月)厚生棟にて院内感染対策委員会主催の全体研修が開催されました。(2回目は10月16日にビデオ放映)。初めにICDで院内感染対策委員の有本委員長から「インフルエンザ総合対策」、続いて杏林製薬株式会社ヘルスケア事業本部の金子様から「手指衛生・手荒れ対策」についてのお話がありました。今年も

インフルエンザの季節が到来し、11月に入り学級閉鎖の声も聞こえ始めました。スキンケアと正しい手指衛生で病原体の伝播を防ぎましょう!

(編集委員 中野 智子)



駒澤大学高校吹奏楽部による ふれあいコンサート

10月1日(火)の午後、グラウンドを会場にして野外コンサートを開催しました。吹奏楽部員83名と顧問の先生3名、総勢86名の皆さんをお迎えしました。晴天に恵まれ、会場には観客である利用者様用にテントを設営するほどでした。

指揮を執る吉野先生の熱い想いは、83名の部員の熱気あふれる演奏を見事に引き出していて、迫力あるサ

ウンドを利用者様も職員も十分楽しみました。マーチング曲からディズニー音楽までの幅広い演奏と、ダンスパフォーマンスで終了まで楽しませてくれました。

(編集員 高橋 節夫)



秋の訪問コンサート

9月29日(日)の午後、厚生棟研修室を会場に訪問コンサートを開催しました。ソプラノ歌手・坂井田真実子様とピアニスト・石井里乃様をお迎えして、利用者様と一緒に楽しい時間を過ごしました。

坂井田様の笑顔いっぱいの進行と歌、石井様の素敵なピアノ演奏が会場内を魅了しました。利用者様と職員から自然に手拍子が出てくるほど、和やかで楽しい

コンサートになりました。

お二人のコンサートは今回で2回目でしたが、アットホームで温かい雰囲気での交流はこれからも長く継続していきたいと思いをしました。

(編集委員 高橋 節夫)



おしらせコーナー



作業療法科保護者向け講習会 どうしておはしてむずかしいの？

日時	2020年1月18日(土) 10:00~11:15		
対象	保護者	定員	20名
会場	パルテノン多摩	費用	無料

ヤギさん、お世話になりました。

今年はわいわい祭りでも大人気だったヤギさんですが、11月末で一旦お別れとなりました。来年も暖かくなったらまた来てもらう予定です。



第15回心理講演会

発達が気になる子どもと家族を支える地域社会をめざして

日時	2019年12月8日(日) 10:00~12:30		
対象	保護者、教育・保育関係者、地域の支援機関の方	定員	140名
会場	島田療育センター厚生棟	費用	1,000円

お問い合わせは島田療育センター支援部
TEL 042-374-2101 またはホームページをご参照ください。

実習生受入状況

2019年10月~11月

種別	人数	種別	人数
看護師	61名	介護福祉士	3名
保育士	6名	医師	16名
心理士	7名	※介護等体験実習の数は含みません	

shot! ひと息

療育部・分教室前のハロウィン風景

